

新考古覧

岡谷市史編さん室だより『新考古覧』No.40

2026(令和8)年 8月

岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷市史編さん室 編集・発行

岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3F

TEL 0266-78-8455



WEBはこちら

新考古覧：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

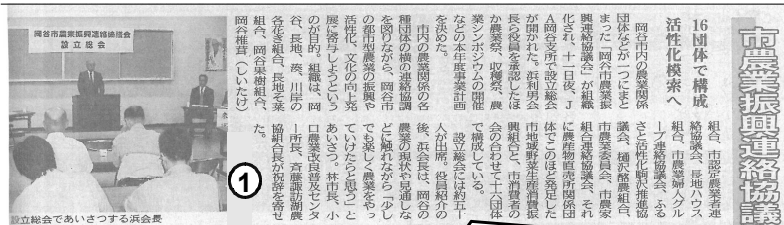
～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

おかげさまで40号

シリーズ 岡谷市史下巻以降のおもなできごと ⑬ 農業

広報誌などから旧市史＜岡谷市史下巻1982（昭和57）年刊行。編年：昭和20年～昭和53年＞以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「農業」です。

西暦	和暦	年	月	出来事
2000	平成	12	12	第1回農業シンポジウム開催
2001	平成	13	7	市内の農業関係団体が一つになった市農業振興連絡協議会が設立⇒新聞記事①
2004	平成	16	3	JA諏訪湖とJA諏訪みどりが合併してJA信州諏訪が発足⇒新聞記事②
2009	平成	21	6	市が学校給食へ地元農産物を出荷する取り組みを本格化⇒新聞記事③
2013	平成	25	7	初の「おかや軽トラ市」を童画館通りで開催
2020	令和	2	1	サツマ芋「シルクスイート」を学校給食で提供開始⇒新聞記事④



岡谷市内の16の農業関係団体などが一つにまとまって組織化され、市の都市型農業の振興や活性化、文化の向上発展に寄与しようという目的で、農業祭、収穫祭、農業シンポジウムなどを行うこととした。



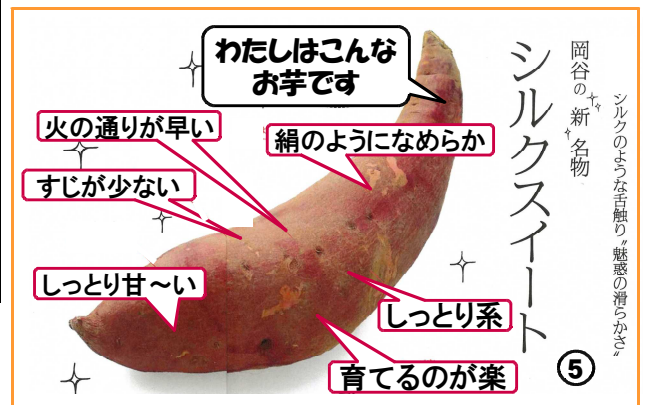
JA諏訪みどりとJA諏訪湖が合併し、JA信州諏訪が発足。当時、組合員数は約2万5千人で県下で5番目に大きい農協となった。



生産者の顔が見える農産物を提供し、健康づくりに役立てたり、子どもたちが地域の農業を学ぶ機会につなげようと、市内全小中学校を対象にした取組



子どもたちにもシルクスイートを知ってもらおうと、学校給食で提供を開始。市では平成17年度から農産物を直売所に出荷する個人や団体に苗を提供し、栽培してもらった。令和8年度は40の個人と団体に約4,000本の苗を配布し、普及に努めている。



現在、市農業技術者連絡協議会では、JA、農業委員、認定農業者などが連携し、地産地消の推進やシルクスイートなどの特産品普及、農業技術の指導を行っています。シルクスイート栽培マニュアルの作成や、イベントでの試食提供などを通じた普及活動に取り組んでいます。



岡谷市の農作物と農業の概要

参考文献・資料：岡谷市カルチャーセンター主催「岡谷学」
令和7年10月21日講座「岡谷市の農業」発表資料（作成：令和7年度岡谷市農林水産課）

- ◆岡谷市は都市化が進んだことで農地は少なく、農地面積は市全体面積8,510haの約2.5%で、諏訪地域の中では小規模である。
- ◆代表的な農産物としては、カーネーション、スイートコーン
- ◆重点事業は「シルクスイート事業」で遊休農地の活用と地域活性化を目的に推進している。



昭和40年に栽培がスタートし、10年後には全国有数の産地になりました。現在は、生産者や生産量は減少するも、品質の高さは市場から評価されています。

岡谷市樋沢地区の広大なトウモロコシ畑
スイートコーンは、平成20年度から栽培を始めました。標高約1000mの高冷地特有の昼夜の寒暖差（10℃以上）を生かして栽培されるブランド野菜です。
糖度が、20度前後にも達するほど甘くジューシーで、地元や近隣地域の直販でも完売するほどの人気です。

写真・画像出典 ① ②：岡谷市HP
③：令和8年7月7日 岡谷市史編さん室撮影

農業の経営規模

表1：2025年農林業センサス、令和7年耕地面積調査（農林水産課提供）をもとに市史編さん室作成

表1 諏訪地域 6市町村	田 (ha)	畑 (ha)	販売 農家 (戸)	自給的 農家 (戸)	農家数 (戸)
岡谷市	72	130	34	509	543
下諏訪町	28	28	16	88	104
諏訪市	399	209	228	692	920
茅野市	1,390	967	623	1,440	2,063
富士見町	892	671	338	535	873
原村	558	575	352	196	548

シルクスイート事業 普及への取組

シルクスイートは群馬県伊勢崎市の業者が開発したサツマイモで、平成24年から種苗の販売が開始された品種

- ・令和元年度 おかやシルクスイートフェア、おかやシルクスイートの日開始
- ・令和2年度 サポートファームでの栽培開始
- ・令和3年度 シルクスイート体験事業開始
- ・令和4年度 岡谷・シルクスイートオーナー事業開始
- ・令和6年度 信州岡谷市プロモーションイベント参加（スイーツ試食・販売）

農業の課題

- ▼高齢化、後継者・新規就農者不足
- ▼宅地化と農地の荒廃による農家数・農地面積の減少傾向
- ▼遊休農地や荒廃農地の増加など

農業振興事業（令和7年度行政報告書より）

- ◆農業担い手の育成、確保 ・サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業 ・関係補助金交付
- ◆地産地消の推進 ・農産物直売所への支援事業 ・学校給食地元農産物利用推進事業 ・農業振興連絡協議会事業
- ◆生産振興の推進（各種補助金） ◆ 農地保全対策
- ◆米の生産数量目標及び経営所得安定対策

農業振興のための各種イベント

岡谷農業フェスティバル
（農業振興連絡協議会主催）



オープンエアマーケット
（市農林水産課主催）



この日は12団体がブース出店しました。

シルクスイート体験事業
（農業技術者連絡協議会主催）



募集対象：
市民、個人またはグループで20組定員
今年は14組が応募しました。

④ 岡谷市役所イベント広場 令和7年9月6日開催 市農林水産課提供 ⑤ 岡谷蚕糸博物館マルベリー広場 令和8年7月18日 市史編さん室撮影 ⑥ 岡谷市民体育館西側「いしころ農園」令和8年7月3日 市史編さん室撮影

＜報告＞ 市史編さん事業業務報告



まちに焦点を当てた「特論」で構成します。

○7月9日（木）本年度初回岡谷市史編さん委員会開催
受託業者（株）ぎょうせいも加わり、意見交換しました。執筆する上でのルールやレイアウトを検討し、大まかな目次構成も決めました。
三部構成とし、第1部を「通史」、第2部を「部門史」、ものづくりの



○7月10日（金）本年度第2回岡谷市史編集専門委員会開催
既刊市史の記述について補遺が必要な項目を検討しました。今回はまず、「地形と地質」、「岡谷の遺跡と遺物」について、専門委員と執筆要領を確認しながら、項目の抽出に着手しました。

（担当：専門職員 小林 博）